

## 高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業（他団体との共催事業）

### 「高松市民のためのキャッシュレス活用法」を開催しました。

令和3年9月11日（土）、NPO 法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会香川支部会員 小森明子さんを講師にお迎えし、「高松市民のためのキャッシュレス活用法」を開催しました。

まず、「キャッシュレスとは？」とクイズを交えて問いかけられるところから始まりました。キャッシュレスの定義は「物理的な現金（紙幣・硬貨等）ではなく、デジタル化された価値の移転を通じて活動できる状態」とのことで、電子マネーカード、デビットカード、クレジットカード、スマホ決済などの種別があることを説明してくださいました。



世界の中で比較してみると、日本のキャッシュレス決済状況（2018年）は、約24パーセントで主要11か国中10位であり、94%を超えている1位の韓国は、国の主導があつて、ここまで進んだそうです。

国内での手段別利用状況を見てみると、コード決済が短期間で順調な伸びを示しており、また、年代別利用状況では、60～79歳の半数以上がキャッシュレスを利用しているとのことです。

香川県の利用状況はというと、全国平均とほぼ同じ水準であり、比較的電子マネーの割合が高いとのこと。これは、地元のスーパーマーケットが導入していることや、新しいものの好きでチャレンジ精神が旺盛な県民性なども理由であるようです。そして、講師が実際に店舗に出向いて、キャッシュレスの状況を調べた内容も話してくださり、受講生の皆さんは、とても興味深く聞いていました。

次に、利用することへの不安要素についてお話してくださいました。不安の理由には、年代間で温度差があり、高齢者層は、慣れていないので漠然と不安。若年層は、手段が乱立していて不便。という意識を持っているそうです。

高齢者層の不安を取り除くためには、キャッシュレス化に伴う犯罪についてまず知ることが大切とのこと。具体的な犯罪の手口として、偽りのホームページに誘導して個人情報盗む、スマホに表示している他人のQRコードを背後からスキャンして自らの支払いに使うなどの例を挙げながら、様々な犯罪の形態とその防衛策を教えてくださいました。

また、スマホ決済のメリットとデメリットについて、各種QRコードのポイント還元率や手数料などについて説明があった後、QRコードを選ぶ際の目安として、次のことを教えてくださいました。

① 普段使いできること！ ⇒「高松市でキャッシュレス支払い可能な公共料金は？」

「高松市のスーパーのキャッシュレス状況は？」

② ポイントが使いやすいこと！ ⇒「ポイ活」

③ 親戚・お友達に聞きやすいこと！

最後にキャッシュレスが目指すものは、①消費者の利便性の向上、②店舗の効率化・売り上げ拡大、③データの利活用 との説明をしてくださりました。

具体的な例を挙げながらの分かりやすい講義で、受講生の皆さんも、一層、キャッシュレスに挑戦してみようと思われたのではないのでしょうか。